

使用教科書		副教材等	基礎から学ぶスポーツ概論 (大修館書店)
学習の到達目標	知識・技能	スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための学習に主体的に取り組む態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準			
			力挨拶・礼儀 (基礎人間)	思考・実践の力 (知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	客観的に物事を見つめる力 (メタ認知)	論理的思考力	情報分析力 (批判的思考力)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力		未来を切り拓くキャリア	主体的な行動力	協働力 (チームワーク)
一年 (基礎力養成期)	4	スポーツの文化的特性や現代におけるスポーツの発展																
	5																	
	6																	
	7																	
二年 (思考力養成期)	9	スポーツの効果的な学習の仕方																
	10																	
	11																	
	12																	
	1																	
三学期	2	スポーツの効果的な学習の仕方																
	3																	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けている。	・単元テスト ・実技の内容
思考・判断・表現	スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養っている。	・単元テストへの記述内容 ・グループでの話し合いの内容 ・発表の内容
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための学習に主体的に取り組む態度を養っている。	・グループでの話し合いへの取り組み方 ・発表の状況

使用教科書		副教材等	
学習の到達目標	知識・技能	陸上競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	陸上競技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	陸上競技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、スポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準			
			力発揮・ 礼儀(基礎人間)	思考・ 実力(知識や 技能)	コミュニケーション 能力	情報 収集力	力想像力・ 未来を予測する 力	課題を 発見する力	力多 角的に物事を見つ める 力(多 角的に 認知)	論 理的 思考 力	情 報 分 析 力 (批判 的思 考)	情 報 発 信 力	前 述 す る 力		情 報 発 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	課 題 を 切 り 拓 く キ ャ ラ リ ア
一年(基礎力養成期)	4	(測定競技) 陸上競技 短距離走 ハードル走															<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「スポーツI」に関連して高まる体力やその高め方、学習する運動に関する行い方やその学び方、運動を他者と学び合う際の動きや改善のポイントの示し方、仲間と継続的に活動するための調整の仕方、様々な環境下で実践する際の健康・安全の確保の仕方などを理解している。 スポーツIの多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発見した動きの改善点や、効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えている。 練習や競技会を行う場面で、自己や仲間の活動を振り返り、よりよいルールやマナーについて提案している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。
	5																
6																	
一年(思考力養成期)	7																
	9																
	10	(測定競技) 陸上競技 長距離走 リレー															
	11																
	12																
1																	
2																	
3																	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	陸上競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けている。	・タイム測定 ・動きの確認
思考・判断・表現	陸上競技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養っている。	・教え合いへの取り組み方 ・課題へ取り組み姿勢
主体的に学習に取り組む態度	陸上競技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、スポーツの推進及び発展に寄与する態度を養っている。	・授業への取り組み方 ・準備・片付けへの取り組み方

使用教科書		副教材等	
学習の到達目標	知識・技能	陸上競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	陸上競技における自己や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	陸上競技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、スポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。	

47

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準	
			力発揮・礼儀(基礎人間)	と思考・実践の材料や根拠	情報収集力	力思考・発見する力	課題を発見する力	客観的に物事を見つめる力	論理的思考力	シグナリ能力(批判的・創造的)	整理する力	情報発信力	課題を解決する力	設け力を切り拓くキャリア	主体的な行動力		一歩踏み出す力
一年一学期	4 5 6 7 9																
二年(思考力養成期)	10 11 12	(測定競技) 陸上競技 ハードル走 走り幅跳び	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ハードル走・走り幅跳びを通してスポーツを推進及び発展するための事項を理解している。 ・他者と学び合う場面で、基本的な技の見本や改善のポイントを身体及び言葉などで他者に表現できる。 ・体力や技能の程度、性別や目的など様々な違いを超えて、スポーツを楽しむために調整し合意したマナーを実践できる。 【思考・判断・表現】 ・映像や記録など客観的なデータから、動きの改善点の妥当性やより効果的な改善策について分析したことを、根拠を示し伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・個々の違いに応じた課題や挑戦及び練習の仕方やルールの修正などを大切にしようとしている。
三学期	1 2 3																
三年一学期	4 5 6 7 9																
三年(実践力養成期)	10 11 12 1	(測定競技) 陸上競技 長距離走 リレー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・危機回避の際の行動及び事故発生時の応急手当ができる。 ・体力や技能の程度、性別や目的など様々な違いを超えて、スポーツを楽しむために調整し合意したマナーを実践できる。 ・発表会や競技会などの目的に応じた企画や運営ができる。 【思考・判断・表現】 ・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに陸上競技を楽しむための調整の仕方を見付けける。 ・スポーツの推進及び発展に向けた視点から自他の「する、みる、支える、知る」などの多様な将来の関わり方について、自他の考えたことを踏まえ、理由を説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・公正、協力、責任などのスポーツの持続可能性及び規範を遵守する社会の創造に寄与する学習に意欲をもっている。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	陸上競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けている。	・タイム測定 ・動きの確認
思考・判断・表現	陸上競技における自己や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養っている。	・教え合いへの取り組み方 ・課題へ取り組み姿勢
主体的に学習に取り組む態度	陸上競技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、スポーツの推進及び発展に寄与する態度を養っている。	・授業への取り組み方 ・準備・片付けへの取り組み方

使用教科書		副教材等	
学習の到達目標	知識・技能	バドミントン・テニスの推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	バドミントン・テニスにおける自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	バドミントン・テニスの学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準		
			力 検 査 ・ 礼 儀 ・ 基 礎 人 間 性	と 思 考 ・ 実 践 の 学 力 へ の 関 連	コ ミュ ニ ケー ション 能 力	情 報 取 扱 能 力	力 感 覚 力 ・ 未 来 を 予 測 す る 力	課 題 を 発 見 す る 力	力 客 観 的 に 物 事 を 見 つ め る 力 ・ 認 知 的 思 考 力	論 理 的 思 考 力 ・ シ ス テム 的 思 考 力 ・ シ ス テム 的 シ ン ク ・ リ ン ク 力	情 報 分 析 力 ・ カ ル ド ン シ ン ク 力	創 造 す る 力	情 報 取 扱 能 力	課 題 を 解 決 す る 力	設 計 力 を 培 う 力 ・ キ ャ ラ ク タ リ シ ン ク 力		主 体 的 な 行 動 力	・ 協 働 力 ・ チ ーム ワ ー ク 力
一 学 期	4	(ネット型球技) バドミントン テニス																
	5																	
	6																	
	7																	
9																		
二 学 期 (一年へ基礎力養成期)	10																	【知識・技能】 ・バドミントン・テニスに関連して高まる体力やその高め方、その行い方やその学び方、運動を他者と学び合う際の動きや改善のポイントの示し方を理解している。 ・競技会などにおける参加者の募集、運営方法や審判方法、初歩的な指導法、様々な環境下で実践する際の健康・安全の確保の仕方を理解している。 ・バドミントン・テニスの多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能を身に付けている。 ・他者と学び合う場面で、基本的な技の見本や改善のポイントを身体及び言葉などで他者に表現できる。 ・体力や技能の程度、性別や目的、障害の有無など様々な違いを超えて、スポーツを楽しむために調整し合意したマナーを実践できる。
	11																	
	12																	
三 学 期 (一年へ思考力養成期)	1			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思考・判断・表現】 ・発見した動きの改善点や、効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間へ伝えている。 ・練習やゲームを行う場面で、チームや自己の活動を振り返り、よりよいマナーや行為について提案している。 ・運動やスポーツを継続したり、地域へ参画したりするための条件や支援の在り方など、社会的課題に向けた改善策を提案している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯にわたってスポーツを実践していく際の公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高めている。 ・スポーツの推進及び発展に寄与する自己の姿勢や他者、地域社会との関わり方などのスポーツの価値を高めることについて主体的に取り組んでいる。
	2																	
	3																	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	バドミントン・テニスの推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けている。	・スキルテスト ・ゲーム結果分析
思考・判断・表現	バドミントン・テニスにおける自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養っている。	・教え合いの内容 ・練習への取り組み方
主体的に学習に取り組む態度	バドミントン・テニスの学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養っている。	・グループ活動への取り組み方 ・準備・片付けへの取り組み方

使用教科書		副教材等	アクティブスポーツ(大修館書店)
学習の到達目標	知識・技能	ゴルフの推進の及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	ゴルフにおける自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	ゴルフの学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準			
			力発揮・発揮(基礎入門)	思考・表現の学力(知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	力発揮力・未来を予測する	課題を発見する力	客観的に物事を見つめる	論理的思考力	情報発信力	創造する力	情報発信力		課題を解決する力	設定力を切り拓くキャリア	主体的な行動力
三年(思考力養成期)	4	(ターゲット型球技) ゴルフ															
	5																
	6																
	7																
二年(実践力養成期)	9																
	10																
	11																
	12																
二年(実践力養成期)	1																

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	ゴルフの推進の及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けている。	・スキルテスト ・コースラウンド内容、結果分析
思考・判断・表現	ゴルフにおける自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養っている。	・教え合いの内容 ・練習への取り組み方
主体的に学習に取り組む態度	ゴルフの学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養っている。	・グループ活動への取り組み方 ・準備・片付けへの取り組み方

使用教科書		副教材等	
学習の到達目標	知識・技能	剣道・柔道の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	剣道・柔道における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	剣道・柔道の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準	
			力探求・礼儀(基礎人間)	上思考・実践の学力(知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する	課題を発見する力	力客観的に物事を見つめる	論理的思考力	力批判的・創造的思考力	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	主体的な行動力		一瞬の力
三年(基礎力養成期)	4	武道 剣道・柔道															<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剣道・柔道に関連して高まる体力やその高め方、学習する運動に関する行い方やその学び方、運動を他者と学ぶ際の動きや改善のポイントの示し方を理解する。 ・伝統的な考え方、見取り稽古の仕方、仲間と継続的に活動するための調整の仕方を理解する。 ・試合などにおける参加者の募集、運営方法や審判方法、初歩的な指導法、様々な環境下で実践する際の健康・安全の確保の仕方やマナーなどの多様な関わり方を実践するための事項を理解する。 ・剣道・柔道の多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能を身に付けている。 ・他者と学び合う場面で、基本的な技の見本や改善のポイントを身体及び言葉などで他者に表現できている。 ・危機回避の際の行動及び事故発生時の応急手当ができる。 ・体力や技能の程度、性別や目的、障害の有無など様々な違いを超えて、スポーツを楽しむために調整し合意したマナーを実践できる。 ・試合などの目的に応じた企画や運営ができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見した動きの改善点や、効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えている。 ・映像や記録など客観的なデータから、動きの改善点の妥当性やより効果的な改善策について分析したことを、根拠を示し伝えている。 ・相手を尊重する等の伝統的な行動をしたり練習したりする場面で、自己や仲間の活動を振り返り、よりよい所作やマナーについて提案している。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに剣道・柔道を楽しむための活動の調整の仕方を見付けている。 ・剣道・柔道を行う際の参加者に応じた効果的な体力の高め方を計画したり、自然環境下で危機回避及び緊急時の対応方法についてのよりよい改善点を指摘したりすること。 ・多様な参加者とともに運動するための調整の仕方や試合などの運営方法等を提案している。 ・スポーツの推進及び発展に向けた視点から自他の「する、みる、支える、知る」などの多様な将来の関わり方について、自他の考えたことを踏まえ、理由を添えて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたってスポーツを実践していく際の伝統的な行動の仕方、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高めている。 ・スポーツの推進及び発展に寄与する自己の姿勢や他者、地域社会との関わり方などのスポーツの価値を高めることに主体的に取り組んでいる。 ・公正、協力、責任などのスポーツの特長可能性及び規範を遵守する社会の創造に寄与する学習に意欲をもっている。
	5																
	6																
7																	
二年(思考力養成期)	9																
	10																
	11																
二年(実践力養成期)	12																
	1																
	2																
	3																

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	剣道・柔道の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けている。	・スキルテストの結果 ・試合の結果分析
思考・判断・表現	剣道・柔道における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養っている。	・スキルテストの内容 ・グループ活動への取り組み方
主体的に学習に取り組む態度	剣道・柔道の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養っている。	・教え合いの状況 ・準備、片付けへの取り組み方

使用教科書		副教材等	
学習の到達目標	知識・技能	ダンスの推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	ダンスにおける自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	ダンスの学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準
			力発揮・汎用性(基礎人間)	と思考・実践の材料や形態	コミュニケーション能力	情報収集力	課題を発見する力	力客観的に物事を見つめる	論理的思考力	力情報分析力(イロハニホトケ)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	主体的な行動力	
一学期 (二年(基礎力養成期))	4	ダンス													<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ダンスに関連して高まる体力やその高め方、学習する運動に関する行い方やその学び方、運動を他者と学び合う際の動きや改善のポイントの示し方を理解する。 交流や発表の仕方、仲間と継続的に活動するための調整の仕方を理解している。 交流会や発表会などにおける参加者の募集、運営方法や審判方法、初歩的な指導法、様々な環境下で実践する際の健康・安全の確保の仕方やマナーなどの多様な関わり方を実践するための事項を理解する。 ダンスの多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能を身に付けている。 他者と学び合う場面で、基本的な技の見本や改善のポイントを身体及び言語で他者に表現できている。 危険回避の際の行動及び事故発生時の応急手当ができる。 体力や技能の程度、性別や目的、障害の有無など様々な違いを踏まえて、スポーツを楽しむために調整し合意したマナーを実践できる。 交流会や発表会などの目的に応じた企画や運営ができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発見した動きの改善点や、効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えている。 映像や記録など客観的なデータから、動きの改善点の妥当性やより効果的な改善策について分析したことを、根拠を明示している。 仲間との話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付け、仲間に伝えている。 体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともにダンスを楽しむための活動の調整の仕方を見付けている。 ダンスを行う際の参加者に応じた効果的な体力の高め方を計画したり、自然環境下で危険回避及び緊急時の対応方法についてのよりよい改善点を指摘したりしている。 多様な参加者とともに運動するための調整の仕方や試合などの運営方法等を提案している。 スポーツの推進及び発展に向けた視点から自他の「する、みる、支える、知る」などの多様な関係の関わり方について、自他の考えたことを踏まえ、理由を添えて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたってスポーツを実践していく際の公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高めている。 スポーツの推進及び発展に寄与する自己の姿勢や他者、地域社会との関わり方などのスポーツの価値を高めることに主体的に取り組んでいる。 公正、協力、責任などのスポーツの持続可能性及び規範を遵守する社会の創造に寄与する学習に意欲をもっている。
	5														
	6														
7															
二学期 (二年(思考力養成期))	9														
	10														
	11														
三学期 (二年(実践力養成期))	12														
	1														
	2														
	3														

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	ダンスの推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けている。	・スキルテストの結果 ・発表会の結果分析
思考・判断・表現	ダンスにおける自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養っている。	・スキルテストの内容 ・グループ活動への取り組み方
主体的に学習に取り組む態度	ダンスの学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養っている。	・教え合いの状況 ・準備、片付けへの取り組み方

使用教科書		副教材等	アクティブスポーツ (大修館書店)
学習の到達目標	知識・技能	スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲの推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲにおける自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲの学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力				活動内容・評価規準		
			力発揮・九箇(基礎人間)	思考・実践(知識)となる学実践(知識)と関係	情報収集力	力想像力・未来を予測する	課題を発見する力	力客観的に物事を見つめる	論理的思考力	力批判的思考力(批判的シナリオ)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計案を切り拓くキヤリア		主体的な行動力	協働力(ムウイ)
一・二・三年(基礎力養成期)	4	スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲ 専門種目を選択														<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲに関連して高まる体力やその高め方、学習する運動に関する行い方やその学び方、運動を他者と学び合う際の動きや改善のポイントの示し方を理解する。 ・仲間と継続的に活動するための調整の仕方を理解する。 ・試合などにおける参加者の募集、運営方法や審判方法、初歩的な指導法、様々な環境下で実践する際の健康・安全の確保の仕方やマナーなどの多様な関わり方を実践するための事項を理解する。 ・スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲの多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能を身に付けている。 ・他者と学び合う場面で、基本的な技の見本や改善のポイントを身体及び言葉などで他者に表現できている。 ・危機回避の際の行動及び事故発生時の応急手当ができる。 ・体力や技能の程度、性別や目的、障害の有無など様々な違いを超えて、スポーツを楽しむために調整し合意したマナーを実践できる。 ・試合などの目的に応じた企画や運営ができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見した動きの改善点や、効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えている。 ・映像や記録など客観的なデータから、動きの改善点の妥当性やより効果的な改善策について分析したことを、根拠を示し伝えている。 ・練習や競技会を行う場面で、自己や仲間の活動を振り返り、よりよいルールやマナーについて提案している。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともにスポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲを楽しむための活動の調整の仕方を見付けている。 ・スポーツを行う際の参加者に応じた効果的な体力の高め方を計画したり、自然環境下で危機回避及び緊急時の対応方法についてのよりよい改善点を指摘したりしている。 ・多様な参加者とともに運動するための調整の仕方や試合などの運営方法等を提案している。 ・スポーツの推進及び発展に向けた視点から自他の「する、みる、支える、知る」などの多様な将来の関わり方について、自他の考えたことを踏まえ、理由を添えて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたってスポーツを実践していく際の公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高めている。 ・スポーツの推進及び発展に寄与する自己の姿勢や他者、地域社会との関わり方などのスポーツの価値を高めることに主体的に取り組んでいる。 ・公正、協力、責任などのスポーツの持続可能性及び規範を遵守する社会の創造に寄与する学習に意欲をもっている。 	
	5																
	6																
	7																
一・二・三年(思考力養成期)	9																
	10																
	11																
	12																
一・二・三年(実践力養成期)	1																
	2																
	3																

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲの推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けている。	・期末考査、学年末考査 ・試合の結果分析
思考・判断・表現	スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲにおける自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養っている。	・期末考査、学年末考査の記入状況 ・グループ活動への取り組み方
主体的に学習に取り組む態度	スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲの学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養っている。	・教え合いの状況 ・準備、片付けへの取り組み方

使用教科書		副教材等	
学習の到達目標	知識・技能	自然との関わりの深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	自然との関わりの深い野外の運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	自然との関わりの深い野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準			
			力探(探)・丸(丸)・丸(丸)・丸(丸)	思考(思)・力(力)・丸(丸)・丸(丸)	情報(情)・取(取)・集(集)・力(力)	力(力)・思(思)・考(考)・力(力)	課(課)・題(題)・を(を)・発(発)・見(見)・す(す)・方(方)	力(力)・多(多)・観(観)・的(的)・に(に)・認(認)・知(知)	論(論)・理(理)・的(的)・思(思)・考(考)・力(力)	力(力)・情(情)・境(境)・分(分)・析(析)・力(力)	創(創)・造(造)・す(す)・る(る)・力(力)	情(情)・報(報)・発(発)・信(信)・力(力)	課(課)・題(題)・を(を)・解(解)・決(決)・す(す)・る(る)・力(力)	設(設)・計(計)・未(未)・了(了)・の(の)・行(行)・動(動)	主(主)・体(体)・的(的)・な(な)・行(行)・動(動)・力(力)		展(展)・望(望)・力(力)・シ(シ)・ム(ム)・ワ(ワ)・リ(リ)・ク(ク)		
一 学 期 (基 礎 力 養 成 期)	4	スポーツV 県高校総体視察研修																<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツの観戦を通してスポーツを推進及び発展するための事項を理解する。 危機回避の際の行動及び事故発生時の応急手当ができる。 競技会や記録会などの目的に応じた企画や運営ができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像や記録など客観的なデータから、動きの改善点の妥当性やより効果的な改善策について分析したことを、根拠を示して伝えている。 仲間で分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様性・共生などのスポーツを通じた共生社会の実現に寄与する学習に意欲をもっている。 地域への参画や仲間づくりなどのスポーツを推進及び発展するためのスポーツの価値を高める学習に意欲をもっている。 	
	5																		
	6																		
	7																		
二 学 期 (思 考 力 養 成 期)	9	スポーツV サイクリング 野外炊飯 スケート																<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツVを多様に実践するための事項を理解している。 スポーツVを通してスポーツを推進及び発展するための事項を理解している。 スポーツVの多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能や野外の運動に関する各種技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発見した動きの改善点や、効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えている。 自然の中で活動する場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。 運動やスポーツを継続したり、地域へ参画したりするための条件や支援の在り方など、社会的課題に向けた改善策を提案している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公正、協力、責任などのスポーツの持続可能性及び規範を遵守する社会の創造に寄与する学習意欲をもっている。 	
	10																		
	11																		
	12																		
三 学 期	1																		
	2																		
	3																		

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	自然との関わりの深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けている。	・レポートの評価 ・活動内容の観察
思考・判断・表現	自然との関わりの深い野外の運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養っている。	・レポートの内容 ・グループ活動への取り組み方
主体的に学習に取り組む態度	自然との関わりの深い野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養っている。	・グループ活動へ取り組む姿勢 ・準備、片付けへの取り組み方

使用教科書		副教材等	アクティブスポーツ (大修館書店)
学習の到達目標	知識・技能	自然との関わりの深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	自然との関わりの深い野外の運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	自然との関わりの深い野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価基準	
			力発揮・状況への対応能力	思考・表現・実践の材料や根拠となる学力(知識・技能)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	客観的に物事を捉える力(メタ認知)	論理的思考力	力関係(対人関係)の理解力	創造する力	情報処理力	課題を解決する力		主体的な行動力
二・三年(基礎力養成期)	4	スポーツV 県高校総体視察研修														<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツの観戦を通してスポーツを推進及び発展するための事項を理解する。 危機回避の際の行動及び事故発生時の応急手当ができる。 競技会や記録会などの目的に応じた企画や運営ができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像や記録など客観的なデータから、動きの改善点の妥当性やより効果的な改善策について分析したことを、根拠を示して伝えている。 仲間と分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様性・共生などのスポーツを通じた共生社会の実現に寄与する学習に意欲をもっている。 地域への参画や仲間づくりなどのスポーツを推進及び発展するためのスポーツの価値を高める学習に意欲をもっている。
	5															
	6															
二・三年(思考力養成期)	9	スポーツV (2年) 登山 野外炊飯 オリエンテーリング (3年) 水辺活動														<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツVを多様実践するための事項を理解している。 スポーツVを通してスポーツを推進及び発展するための事項を理解している。 スポーツVの多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能や野外の運動に関する各種技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然の中で活動する場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。 仲間との話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付け、仲間と伝えている。 運動やスポーツを継続したり、地域へ参画したりするための条件や支援の在り方など、社会的課題に向けた改善策を提案している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域への参画や仲間づくりなどのスポーツを推進及び発展するためのスポーツの価値を高める学習に意欲をもっている。
	10															
	11															
三学期	12															
	1															
2																
3																

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	自然との関わりの深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けている。	・レポートの評価 ・活動内容の観察
思考・判断・表現	自然との関わりの深い野外の運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養っている。	・レポートの内容 ・グループ活動への取り組み方
主体的に学習に取り組む態度	自然との関わりの深い野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養っている。	・グループ活動へ取り組み姿勢 ・準備、片付けへの取り組み方

使用教科書		副教材等	
学習の到達目標	知識・技能	体づくり運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	体づくり運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	体づくり運動の学習に主体的に取り組むとともに、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準		
			力発揮・礼儀(基礎人間)	と思考・学力(加材料)	コミュニケーション能力	情報取集力	力想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	方客観的に物事を見つめる力	論理的思考力	シグナル・データ・因果論的思考力	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	取組を切り拓く力		主体的な行動力	一協手能力(ムラリク)
一年(基礎力養成期)	4	スポーツVI 体づくり運動																<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツVIを多様に実践するための事項を理解している。 ・スポーツVIを通してスポーツを推進及び発展するための事項を理解している。 ・スポーツVIを多様に実践するための運動の行い方を身に付けている。 ・仲間と学び合う場で、動きの見本や効果的な行い方のポイントを身体及び言語で他者に表現できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見した動きの改善点や、効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えている。 ・仲間との話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付け、仲間に伝えている。 ・多様な参加者と共に運動するための調整の仕方や運営方法を提案している。 ・運動やスポーツを継続したり、地域へ参画したりするための条件や支援の在り方など、社会的課題に向けた改善策を提案している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力、責任などのスポーツの持続可能性及び規範を遵守する社会の創造に寄与する学習に意欲をもっている。
	5																	
	6																	
	7		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	9																	
二学期	10																	
	11																	
	12																	
三学期																		

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	体づくり運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けている。	・スキルテストの評価 ・発表の評価
思考・判断・表現	体づくり運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養っている。	・練習の進め方の観察 ・グループ活動への取り組み方
主体的に学習に取り組む態度	体づくり運動の学習に主体的に取り組むとともに、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養っている。	・教え合いへの取り組み方 ・発表までの進め方の観察 ・準備、片付けへの取り組み方

使用教科書		副教材等	アクティブスポーツ (大修館書店)
学習の到達目標	知識・技能	体づくり運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	体づくり運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	体づくり運動の学習に主体的に取り組むとともに、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準	
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思考・実践の材料や情報	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する	課題を発見する力	力客観的に物事を見つめる	論理的思考力	力情報分析力(批判的シンキング)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計力を切り拓くキャリア		主体的な行動力
一学期	4	スポーツVI 体づくり運動															<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツVIを多様に実践するための事項を理解している。 ・スポーツVIを通してスポーツを推進及び発展するための事項を理解している。 ・スポーツVIを多様に実践するための運動の行い方を身に付けている。 ・危機回避の際の行動及び事故発生時の応急手当ができる。 ・体力の程度、性別や目的、障害の有無など様々な違いを超えて、スポーツを楽しむために調整し合意したマナーを実践できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像や記録など客観的なデータから、動きの改善点の妥当性やより効果的な改善策について分析したことを、根拠を示し伝えている。 ・運動やスポーツを継続したり、地域へ参画したりするための条件や支援の在り方など、社会的課題に向けた改善策を提案している。 ・スポーツの推進及び発展に向けた視点から自他の「する、みる、支える、知る」などの多様な将来の関わり方について、自他の考えたことを踏まえ、理由を添えて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域への参画や仲間づくりなどのスポーツを推進及び発展するためのスポーツの価値を高める学習に意欲をもっている。
	5																
6																	
7																	
8																	
9																	
二学期	10																
	11																
	12																
三学期	1																
	2																
	3																

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	体づくり運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けている。	・スキルテストの評価 ・発表の評価
思考・判断・表現	体づくり運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養っている。	・練習の進め方の観察 ・グループ活動への取り組み方
主体的に学習に取り組む態度	体づくり運動の学習に主体的に取り組むとともに、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養っている。	・教え合いへの取り組み方 ・発表までの進め方の観察 ・準備、片付けへの取り組み方

使用教科書		副教材等	
学習の到達目標	知識・技能	スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組む態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			力発揮・丸儲へ基礎人間	思考・実践の材料や根拠となる学力(知識)	コミュニケーション能力	情報取能力	想像力・未来を予測する	課題を発見する力	多角的に物事を見つめる	論理的思考力	力発揮・丸儲へ基礎人間	創造する力	情報取能力	課題を解決する力		主体的な行動力
一年(基礎力養成期)	4	スポーツの多様な理論や実践に関する課題研究														
	5															
	6															
	7															
一年(思考力養成期)	9															
	10															
	11															
	12															
一年(実践力養成期)	1															
	2															
	3															

【知識・技能】
 ・「スポーツ概論」から「スポーツVI」までの科目の学習を総合的に活用し、自らが課題を設定し探究している。

【思考・判断・表現】
 ・スポーツを推進及び発展していく上での課題を発見し、文化的、社会的、経済的側面など多角的な視点から、自他や社会の課題の解決に向けて思考し判断するとともに、主体的、合理的、計画的な解決に向けた自らの考えを他者に筋道を立て、論理的に伝えている。

【主体的に学習に取り組む態度】
 ・スポーツに関する課題研究に主体的に取り組んでいる。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けている。	・発表の内容評価 ・レポート評価
思考・判断・表現	スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養っている。	・レポートの内容 ・プレゼンテーションへの取り組み方
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組む態度を養っている。	・グループ活動への取り組み方 ・課題研究の進め方

使用教科書		副教材等	アクティブスポーツ (大修館書店)
学習の到達目標	知識・技能	スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組む態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思考・実践の材料や根拠	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する	課題を発見する力	力客観的に物事を捉える力	論理的思考力	力情報分析力(批判的)	力創造する力	情報発信力	課題を解決する力	
二・三年(基礎力養成期)	4	スポーツの多様な理論や実践に関する課題研究													
	5														
	6														
	7														
二・三年(思考力養成期)	9			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
	10														
	11														
	12														
二・三年(実践力養成期)	1														
	2														
	3														

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けている。	・発表の内容評価 ・レポート評価
思考・判断・表現	スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養っている。	・レポートの内容 ・プレゼンテーションへの取り組み方
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組む態度を養っている。	・グループ活動への取り組み方 ・課題研究の進め方

使用教科書	フードデザイン Food Changes LIFE (教育図書)	副教材等	スタートッキング レシピ+成分表 (実教出版) フードデザイン Food Changes LIFE ワークノート (教育図書)
学習の到達目標	知識・技能	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付ける。	
	思考・判断・表現	食生活の現状から食生活全般に関する課題を見出し、思考を深め、食生活の充実向上のために、合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。	
	主体的に学習に取り組む態度	食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む。	

学年	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準	
			読解力・情報力・基礎力	情報活用能力	コミュニケーション能力	課題発見力	課題解決力	論理的思考力	創造力	実践力	表現力		主体的な行動力
二年(基礎力養成期)	4	「フードデザイン」を学ぶ 第1章 健康と食生活 ①食事の意義と役割 1. なぜ食べるのだろうか ②食を取り巻く現状 1. 青年期の食生活 2. 食生活の変化 3. 現代の食生活の課題 4. 栄養素等の摂取状況 5. 食品の流通と変化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・毎日の食事にどのような役割があるか理解している。 ・日本の食生活の現状と、青年期の食生活の課題を理解している。 ・よくない食生活とそれによって引き起こされる生活習慣病について理解している。 ・栄養素の摂取量や比率は時代によって変化していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・食事の役割をふまえて、自らの食生活を正しく評価している。 ・将来の健康の基礎が青年期の食生活と関係していることに気づくことができる。 ・生活習慣病の原因や症状を調べ話し合ったり発表したりすることができる。 ・栄養素の摂取量や比率が変わることで私たちにどのような影響があるかを考察している 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食事の役割を自分ごととして捉え自分の食生活を見直そうとしている。 ・青年期の食生活の特徴を自らの生活と比較し食生活を改善しようとしている。 ・生活習慣病を自分ごととして捉えようとしている。 ・栄養素の適正な摂取量や比率について考えようとしている。
	5	第2章 栄養素と食品 ①栄養素と消化・吸収 1. からだは何でできている 2. 消化・吸収のしくみ ②栄養素の役割 ③栄養素の働き 1. 炭水化物 2. 脂質 3. たんぱく質 4. ビタミン 5. 無機質 6. 水とその他の栄養素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・栄養素の種類と役割について、科学的に理解している。 ・水もからだを維持するために大切な要素であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・からだの中で、それぞれの栄養素がどのような働きをしているのかについてまとめたり、発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・炭水化物、脂質、たんぱく質、ビタミン、無機質(ミネラル)などの種類、役割について食生活と関連づけて関心をもとうとしている。
	6	④何をどれだけ食べる？ 1. 日本人の食事摂取基準 2. 食品群別摂取量のめやす 3. ライフステージと栄養	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・食事摂取基準が、健康維持・増進、また生活習慣病の予防を目的としていることを理解している。 ・各ライフステージの栄養について理解している。 ・「日本人の食事摂取基準」や「4つの食品群による摂取量のめやす」などを活用し、ライフステージに応じた食事計画を立てる力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・食事バランスガイドと自分の食生活を結びつけて考察している。 ・ライフステージによってなぜ必要とされる食事が異なるのかを考えている。 ・からだの中で栄養素がどのような働きをするのかを考え、各ライフステージにおける食事の課題を発見し、その解決に向けて工夫している 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各ライフステージにおける栄養素の特徴を知り、それぞれのライフステージに応じた食事計画を活用しようとしている。
二年(実践力養成期)	9	⑤食品とその特徴 1. 穀類 2. いも類 3. 砂糖類・甘味料 4. 豆類 5. 種実類 6. 野菜類 7. 果実類 8. きこの類 9. 海藻類 10. 魚介類 11. 肉類 12. 卵類 13. 牛乳・乳製品 14. 油脂類 15. 寒天・ゼラチン 16. 嗜好食品 17. 調味料・香辛料 18. 加工食品 19. 健康食品	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・食品の特徴、調理上の性質、調理の特徴や加工などについて理解している。 ・身の回りの加工食品と加工の目的を理解している。 ・健康食品の種類と気をつけるべき情報を収集、整理している。 【思考・判断・表現】 ・栄養素と食品の学習を結びつけ、日常の食生活の改善点について考えている。 ・食品の加工について身近な事例と結びつけて考察している。 ・健康食品の情報や表示を正しく判断できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食品の種類と特徴についての知識を自分や家族の健康に活用しようとしている。 ・食品の調理性などについて実験等を通して科学的に取り組もうとしている。
	10	第4章 調理してみよう ①なぜ調理するのか 1. 安全性の向上 2. 栄養性の向上 3. おいしさの向上 ②調理操作と調理器具 1. 非加熱調理 2. 非加熱調理 3. 加熱調理・加熱調理 4. 加熱(調理)機器 5. 調理器具とその素材	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・安全性、栄養性、おいしさなどの面から、調理の目的を理解している。 ・食べ物の味が影響を受けている要素を理解している。 ・非加熱調理と加熱調理の種類とそれぞれの特徴を理解している。 ・調理にはさまざまな機能があることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・食べ物のおいしさに関わる要因について考察している。 ・調理操作が料理の仕上がりに与える影響を具体的に考え、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実際にさまざまな調理操作を試して、取り組もうとしている。 ・調理器具の特徴としくみを理解し、具体的に使用してみようとしている。
	11	③調理操作と調理器具 1. 非加熱調理 2. 非加熱調理 3. 加熱調理・加熱調理 4. 加熱(調理)機器 5. 調理器具とその素材	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・安全性、栄養性、おいしさなどの面から、調理の目的を理解している。 ・食べ物の味が影響を受けている要素を理解している。 ・非加熱調理と加熱調理の種類とそれぞれの特徴を理解している。 ・調理にはさまざまな機能があることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・食べ物のおいしさに関わる要因について考察している。 ・調理操作が料理の仕上がりに与える影響を具体的に考え、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実際にさまざまな調理操作を試して、取り組もうとしている。 ・調理器具の特徴としくみを理解し、具体的に使用してみようとしている。
二年(思考力養成期)	12	③調理操作と調理器具 1. 非加熱調理 2. 非加熱調理 3. 加熱調理・加熱調理 4. 加熱(調理)機器 5. 調理器具とその素材	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・安全性、栄養性、おいしさなどの面から、調理の目的を理解している。 ・食べ物の味が影響を受けている要素を理解している。 ・非加熱調理と加熱調理の種類とそれぞれの特徴を理解している。 ・調理にはさまざまな機能があることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・食べ物のおいしさに関わる要因について考察している。 ・調理操作が料理の仕上がりに与える影響を具体的に考え、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実際にさまざまな調理操作を試して、取り組もうとしている。 ・調理器具の特徴としくみを理解し、具体的に使用してみようとしている。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を体系的に理解しているとともに、それらに係る技術を身に付けている。	単元ごとの小テスト、定期テスト
思考・判断・表現	食生活の現状から食生活全般に関する課題を見出し思考を深め、食生活の充実向上を図る職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	単元ごと的小テスト、定期テスト、ワークシート、グループワーク、
主体的に学習に取り組む態度	食生活に関する諸問題に関心をもち自ら学び、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする態度を身に付けている。	ワークシート、レポート課題、グループワークでの態度及び取り組み状況

使用教科書	フードデザイン Food Changes LIFE (教育図書)	副教材等	スタートクッキング レシピ+成分表 (実教出版) フードデザイン Food Changes LIFE ワークノート (教育図書)
学習の到達目標	知識・技能	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付ける。	
	思考・判断・表現	食生活の現状から食生活全般に関する課題を見出し、思考を深め、食生活の充実向上のために、合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。	
	主体的に学習に取り組む態度	食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準	
			知識力	理解力	表現力	論理的思考力	批判的思考力	創造的思考力	情報活用能力	問題解決能力	主体的な行動力		
三年(基礎力養成期)	4	第3章 食品の選択と取り扱い 1 食品選択のコツ ①食品の選択 ②食品の表示 2 食品の衛生と安全 ①食中毒とは? ②食中毒の種類 ③食中毒の予防 3 食の安全を考えて選ぼう ①食の安全を考える ②添加物(食品添加物) ③食の安全性と情報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本や世界の食糧自給率の現状から食糧事情について理解する。 食生活にかかわる問題を知る。 食品の安全を守るしくみや持続可能な食生活に向けた取り組みを知る。 健康や環境に配慮した食生活について、理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食中毒を防ぐための対策について理解し、実践法について具体的に考える。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本と諸外国の添加物の法規制について情報収集し、自分の食生活の課題解決に向けて取り組もうとしている。
	6	第6章 食育と食育推進活動 1 食育推進の取り組み ①食育基本法 ②食育の推進体制 ③家庭、学校、地域等における食育の推進 2 食文化を見つめる ①食と文化のかかわり ②日本の食文化 3 食と環境について考えよう ①食品はどこから来るのか ②食品とごみ問題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代の食生活を見直すために、食育の大切さを理解する。 食は生活と密着したものであり、地域やライフスタイルに合わせて多様な文化を作り上げてきたことを知る。 日本の食糧自給率の現状と問題点について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品ロスの影響を理解し、自分や社会が取り組むべき問題について考える。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育について、家庭・学校・地域・企業それぞれの取り組みについて知り、主体的に取り組むことができるようになる。 郷土料理など、日本の食文化について知り、継承の担い手としての意識をもつ。
三年(実践力養成期)	9	第5章 各国料理とコーディネート 1 料理の様式 ①日本料理の様式 ②西洋料理の様式 ③中国料理の様式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各様式別料理の特徴を理解する。 各様式の献立作成、食卓構成、作法を理解する。 各様式に適した献立作成や応対に伴うマナーやサービスの技術を身に付ける。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> テーブルコーディネートの基本をふまえ、食事のテーマにふさわしい食卓を主体的に整えようとする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各様式別料理の特徴をとらえ、各国の文化的背景との関連性について考察し、論理的に表現している。
	11	2 テーブルコーディネート ①テーブルコーディネートとは ②テーブルコーディネートを考える手順 ③五感にうったえる要素 ④日本料理のコーディネート ⑤西洋料理のコーディネート ⑥中国料理のコーディネート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 和食の特徴について理解し、日本の食文化について知る。 世界の食文化の特徴を知る。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食文化の継承を考慮した各国の献立作成や調理計画について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仲間と協働し、安全を考慮した実習活動に主体的に取り組もうとしている。
三年(思考力養成期)	1	ホームプロジェクト活動 ①SDG'sを意識した調理 ②災害時の食について考えよう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した食生活について、理解する。 災害時に備えて準備する食材、物品について理解する。 災害時に温かい食を準備する手段について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な食生活に向けて、取り組めることを考え、考察したことを論理的に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減について、個人レベルでの取り組みについて具体的に実践しようとしている。 日頃から、有事に備える意識を持ち、準備することができる。 	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を体系的に理解しているとともに、それらに係る技術を身に付けている。	単元ごとの小テスト、定期テスト
思考・判断・表現	食生活の現状から食生活全般に関する課題を見出し思考を深め、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	単元ごとの小テスト、定期テスト、ワークシート、グループワーク
主体的に学習に取り組む態度	食生活に関する諸問題に関心をもち自ら学び、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする態度を身に付けている。	ワークシート、レポート課題、グループワークでの態度及び取り組み状況